
中国武漢市から視察団が三重県へ歴訪されました

6月23日、24日にソフィール開発者の一人である江鷹博士（現、湖北省水資源保護と利用研究院 院長）と湖北省水資源保護と利用研究院 張理事長、張副院長および中鋼集団武漢安全環保研究院 徐院長、同研究院華安分公司 熊總經理の5名の視察団が来県されました。

ソフィールの土壌浄化処理技術で食堂排水を浄化し、その処理水を再利用する実証試験を武漢市の補助事業で実施することとなり、設置現場の視察や技術指導を受けるためにアルコ(株)へ訪問されました。また、この機会に、日本の地方での農村集落排水処理システムを見学し、技術、運営、管理に関する情報収集をされ、さらに、三重県庁に表敬訪問して、日中間の環境問題についての相互の理解・協力を図る活動もされました。

伊勢神宮に参拝していただき、日中友好の感謝をお参りしてきました。



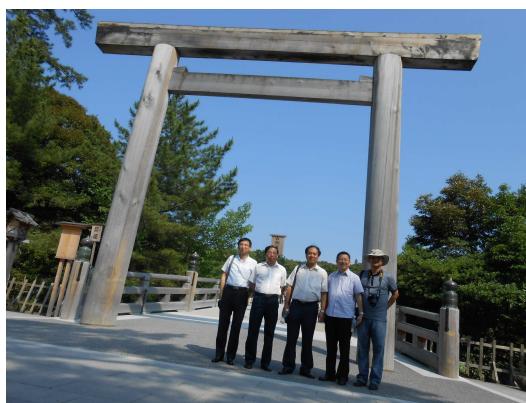
【ソフィールの技術説明・情報交換】
（アルコ(株)にて）



【ソフィールテストプラントの見学風景】
（アルコ(株)にて）



【三重県明和町の農業集落排水処理場の見学風景】



【伊勢神宮内宮にて】